

ゆうべつ町



議会だより

44
号

2021(令和3)年2月25日

発行/北海道湧別町議会

みんなでなかよく、いただきます!

【中湧別保育所】



主な内容

- 1 議員定数の2名削減を可決!!
第4回定例会
- 2 決算審査特別委員会
～意見を付して認定～
- 3 所管事務調査報告
総務厚生常任委員会
- 4 町政を問う
議員3人が一般質問
- 5 議員出席状況
- 6 財産の取得等を可決
第4回臨時会(11月)
第5回臨時会(11月)
- 7 会議の状況
- 8 議会の活動

人と自然が輝くオホーツクのまちを目ざして

議員定数の2名削減を可決!!

第4回定例会は12月17日に開会し、町長から令和2年度各会計補正予算、条例改正など議案26件提出、議員から議案等が5件提出された。うち2件は議員定数に関する条例改正であり、令和3年11月に任期満了となる議会議員の定数を2名減とし、11名とする条例制定を可決した。

また、3人の議員から一般質問があり、同日に閉会した。



湧別町議会議員定数の見直しの条例改正を可決

議会改革の一環として協議を行ってきた、湧別町議会議員の定数の見直しについて、議員自らも身を削り、町財政

の経費削減に寄与する必要があるとして、議会より改選期である令和3年11月以降の議員定数を、現状の13名から2名減の11名とする条例の改正案が、また、常任委員会の人数を、定数減により各1名減とする条例の改正案が、あわせて発議され、審議・採決の結果、**全会一致で原案可決した。**

令和2年度補正予算を可決
一般会計ほか特別会計の補正予算がそれぞれ提案され、審議・採決の結果、**全会一致で原案可決した。**
補正後の各会計予算額は次表のとおり。

【主な質疑応答(要約)】

Q コロナによる売り上げ減に対し実施する、チューリップの湯などの指定管理施設への給付金について、利用実態と給付内容は。

A チューリップの湯の入場者数は前年度と比べ、上半期分で約3万人の減となっている。
今回の給付金は上半期損失分の8割給付であり、下半期分は年間の収支を勘案し、今後検討する。

Q 宿泊業など、コロナの影響が大きいのが、町民に配布した商品券の恩恵を受けない事業者への支援策は。

A 国・道の状況も見ながら、今後年度末に向け、決算状況も踏まえて検討していく。

湧別町議会議員定数の経緯 (平成21年の合併以降)

期数	議員数	常任委員会数
第1期 (平成21年11月～25年11月)	16名	3委員会
第2期 (平成25年11月～29年11月)	13名	2委員会
第3期 (平成29年11月～令和3年11月)	13名	2委員会
第4期 (令和3年11月～7年11月)	11名	2委員会

議員定数調べ (遠紋地区)

(令和2年11月30日現在)

町村名	住基台帳人数	面接 (km ²)	定数	議員1名に対する住民数	議員の任期満了年月日
紋別市	21,333	830.7	16	1,333	令和4年8月7日
遠軽町	19,369	1,332.3	16	1,211	令和3年10月22日
佐呂間町	4,977	404.9	10	498	令和3年9月29日
滝上町	2,479	766.8	9	275	令和5年4月30日
興部町	3,762	362.4	10	376	令和5年4月30日
西興部村	1,065	308.1	8	133	令和5年4月30日
雄武町	4,388	637.0	10	439	令和5年4月30日
湧別町(改正後)	8,714	505.7	11	792	令和7年11月14日

令和2年度各種会計補正予算

(1万円未満切捨て)

会計名	補正回数	補正額	補正後予算額
一般会計	8回目	△259万円	107億5,609万円
国民健康保険特別会計	4回目	25万円	15億1,708万円
介護保険特別会計	2回目	149万円	10億4,231万円
水道事業会計	収益的収入	5万円	1億9,814万円
		収益的支出	3万円
簡易水道事業特別会計	2回目	147万円	2億63万円
下水道事業特別会計	3回目	143万円	4億4,976万円

一般会計補正予算の主な内容

(1万円未満切捨て)
③は新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ」という。)の影響による補正

事業名	補正額	内容
心身障害者対策事業に要する経費	462万円	・障害者自立支援医療給付費等 人工透析に係る給付者の増による追加など
児童福祉施設に要する経費	930万円	・児童複合施設改修工事 令和4年度の保育所統合に向けた、中湧別保育所の保育室面積増のための工事費の追加
子ども・子育て支援事業に要する経費	830万円	・保育所広域入所委託料 他市町保育所へ入所する児童の増に伴う委託料の増 ・施設型給付費負担金 私立幼稚園における道負担の増に伴う負担金の増
教材等の整備に要する経費	200万円	・消耗品費【図書購入費】 遠軽信用金庫より学校図書整備のための寄附があったことから、各小中学校に対し図書購入費を追加するための増
③議会議員に要する経費	△379万円	・費用弁償【旅費】 ニュージーランド訪問や委員会研修がコロナにより中止になったことによる減
③地域活性化推進に要する経費	△453万円	・ゆうべつチャレンジデー 2020実行委員会負担金 チャレンジイベントがコロナにより中止になったことによる減
③国際交流推進に要する経費	△310万円	ニュージーランドセルウィン町友好都市20周年公式訪問などの国際交流事業がコロナにより中止になったことによる減
③相互交流事業に要する経費	△297万円	カナダホワイトコート町との派遣事業がコロナにより中止になったことによる減
③地域交通対策に要する経費	251万円	・名寄線代替バス運営協議会負担金 コロナによる各バス事業者の減収に伴う協議会負担金の増
③敬老会に要する経費	△238万円	敬老会がコロナにより中止になったことによる減
③商工業振興事業に要する経費	450万円	・中小企業緊急支援事業給付金 コロナによる減収が大きい町内企業に対する給付金の対象者増に伴う増(17件分)
③交流体験施設レイクパレスに要する経費	229万円	・施設運営維持管理支援事業給付金 指定管理者に対し上半期のコロナによる減収の8割相当額を給付するための増
③かみゆうべつ温泉チューリップの湯に要する経費	1,012万円	・施設運営維持管理支援事業給付金 指定管理者に対し上半期のコロナによる減収の8割相当額を給付するための増
③その他観光振興事業に要する経費	△1,646万円	クロカン大会、屯田七夕まつり、産業まつりなど、各種イベントの中止による負担金および補助金の減
③湧別高等学校存続対策事業に要する経費	△304万円	・湧別高等学校存続対策事業補助金 交換留学および相互交流事業がコロナにより中止となったことによる減
③社会教育事業に要する経費	△305万円	新篠津村友好都市交流事業、チューリップ生きがい大学等がコロナにより中止となったことによる減
③芸術文化振興に要する経費	△687万円	・芸術文化振興事業報償、芸術文化奨励事業補助金 文化振興事業、文化奨励事業がコロナにより中止となったことによる減
③スポーツ振興に要する経費	323万円	・スポーツ振興報償、スポーツ・文化合宿誘致事業補助金、 上小プール開放事業 スポーツ教室、合宿誘致事業などがコロナにより中止となったことによる減
③少年柔道大会に要する経費	△341万円	少年柔道大会がコロナにより中止となったことによる減

上芭露寿の家廃止による条例改正を可決

令和3年4月に上芭露寿の家が廃止となることから、寿の家及び福祉の家条例の一部改正が提案され、審議・採決の結果、全会一致で原案可決した。

公の施設に係る指定管理者の指定を可決

令和3年4月からの町内公共施設の指定管理者について提案され、審議・採決の結果、全会一致で原案可決した。(16件23施設)
主なものは次のとおり。

- ◇ 町営バス・スクールバス
指定管理者者…湧別小型・湧別ハイヤー・中湧別ハイヤー共同企業体
- ◇ 社会福祉会館
指定管理者…社会福祉法人湧別町社会福祉協議会
- ◇ 公民館・寿の家等地区会館
指定管理者…各地区自治会

令和元年度湧別町各種会計歳入歳出決算額

(1万円未満切捨て)

会計名		歳入・収入	歳出・支出
一般会計		86億9,895万円	83億5,887万円
国民健康保険特別会計		14億1,629万円	14億 813万円
後期高齢者医療特別会計		1億4,551万円	1億4,531万円
介護保険特別会計		10億3,556万円	10億1,406万円
簡易水道事業特別会計		9,143万円	9,085万円
下水道事業特別会計		4億1,099万円	4億1,035万円
水道事業会計	収益的収入及び支出	2億 117万円	2億2,877万円
	資本的収入及び支出	829万円	1,904万円
全会計合計		120億 819万円	116億7,538万円

令和元年度決算を認定

第3回定例会で認定を求められ、継続審査を付託された決算審査特別委員会から、認定すべきとの審査結果が報告された。

この報告を踏まえ、審議・採決の結果、全会一致で認定した。

※関連記事を次ページに掲載

町長の行政報告

— 要約掲載 —

農作物および

漁業生産物の状況

農作物は、気温が比較的高めに推移し、4月から7月にかけて平年より少雨となり、8月は一転雨の多い状況となったが、秋まき小麦を除き平年以上の収量や品質を確保でき、出荷乳量も平年以上となった。

漁業は、外海ホタテが年間を通して天候に恵まれ順調に推移し、当初計画の3万トンを上回る3万6千トンを見込んでいる。しかし新型コロナウイルス感染症の影響で、海外輸出の減少や国内消費の低迷により販売価格が大きく下落し、漁獲金額については昨年度より19%の減額が見込まれている。

令和2年農作物等の状況

項目	10a当たりの収量		対平年比
	湧別地区	上湧別地区	
秋まき小麦	湧別地区	359kg	58%
	上湧別地区	505kg	83%
てん菜	湧別地区	6,597kg	103%
	上湧別地区	6,531kg	102%
玉ねぎ	6,200kg		100%
デントコーン	6,062kg		111%
牧草	4,098kg		100%
項目	総乳量		対前年比
乳量(1月～10月)	95,054t		106%

令和2年漁業生産物の状況

項目	漁獲量・生産額
外海ホタテ	36,000t(12月終了時見込み)
サケ	1,436t(前年比5%の増)
マス	439t(前年比370%の増)
漁業総生産額	58億5,500万円(見込み)、前年比17%の減

サケ漁は漁獲量は前年度比5%増、漁獲金額は単価の上昇もあり33%増となっている。マス漁は不漁であった昨年を大幅に上回り、漁獲量、漁獲金額ともに、前年比3.7倍となっている。

平成30年度から禁漁としていた北海シマエビは、依然資源量が低水準として本年度も引き続き禁漁となった。

去る11月24日に上湧別玉葱振興会から10年連続で玉ねぎ1000kgのご寄贈があった。学校給食に地場産物を使うことで、児童生徒が地元産業や流通に対する関心を深めて郷土を愛する心を育むことが期待できる。地域の素晴らしい食材のご寄贈に感謝する。

玉ねぎの寄贈

決算審査特別委員会 ～意見等を付して認定～

【出席委員】

村川委員長、佐野副委員長、鈴木委員、檜山委員、山本委員、村田委員、下田委員、小形委員、高田委員、酒井委員、上松委員



第4回定例会において村川委員長より報告

第3回定例会で閉会中の継続審査とされていた令和元年度各種会計決算認定について、特別委員会で審査した。

先の監査委員による決算審査で計数的に正確であると報告があったため、重複審査を避け、全委員による総体審査とし、関係書類の確認や理事者や関係課長等から内容聴取を行った。

その後の意見交換・採決の結果、意見を付して全会一致で認定した。

【審査日程】

11月9日（月）
11月13日（金）

【主な質疑応答(要約)】

Q 低所得者支援給付事業として25%のプレミアムが付く商品券を発行したが、利用率が約30%と低調であった。その検証結果は。

A 消費税増税対策として行った事業であるが、券購入のために現金が必要となることから、控えられたので

はないかと考えている。

Q ゆうゆう厚生クリニックに対する経営費補助について、赤字解消に向けてどのような努力がなされたのか。

A 当初より赤字経営が前提での運営となっており、節約による赤字部分の圧縮を常日頃お願いしている。

Q ふるさと納税については、前年度比3倍となっており非常に評価しているが、納税が多い地域と、求められる返礼品の状況は。

A 東京都を除く関東付近が25・1%、東京都が21・5%、近畿圏が18・5%となっている。
返礼品は龍宮カキが20・22%、帆立貝柱が19・97%、湧別牛サーロインステーキが17・4%となっている。

Q 宿泊施設しらかばの経年劣化が著しく、経費がかかりすぎて費用対効果が見られないのではないか。

A 令和元年度から指定管理業者が変わり、経費率も改善するよう経営努力をしている。

Q 公営住宅の周辺整備について、新しい住宅は共益費を集め管理しているが、古い住宅も同様に管理し、周辺環境を整えることができないか。

A 共益費での草刈り等委託については、全てを委託できる事業者がないことから、引き続き入居者へのお願いをしていきたい。

Q 町有林作業の職員が4名必要なところ2名しか確保できていない。今後委託等の検討は。

A 現在、地域おこし協力隊として1名が配置され、3名となったが、引き続き募集していきたい。その結果不足が生じる場合については、委託業務等も検討していきたい。

意見・要望

一般会計

① 徴収努力の成果が見られるものの、町税、町営住宅使用料等、特別会計も含め収入未済額が多額である。収入未済額の解消に継続的に努力をされたい。

また、これら債権が時効により消滅しないように、その保全に努めるとともに不納欠損処分にあつて徴収事務、納税相談業務等に意を尽くし慎重に事務処理することに努められたい。

② ふるさと納税については、申し込み業者の追加、町ホームページでのPRなどを進めるとのことであるが、魅力ある湧別産品のPRに向けて、積極的な事業推進に努められたい。

③ 公営住宅の環境整備、特に空き家となっている住宅に対する環境整備が行き届いていないところが見受けられることから、環境整備に配慮した公営住宅の管理に努められたい。

特別会計・水道事業会計
特に意見等がない。

総務厚生常任委員会 所管事務調査報告

第4回定例会において、令和2年における所管事務調査について、総務厚生常任委員会佐野委員長より報告を行った。



佐野委員長

7回に渡り協議・検討を続けてきた「合併10年における検証・総括について」は、合併10年を機に、今後の町政への意見を含んだものとなった。

◇合併10年における検証・総括について

■調査目的

新町の合併は、旧上湧別・旧湧別がそれぞれの地域の均衡ある発展を図ることが、合併協議の課題であり、合併10年を区切りとして所期の目的を達成したかどうかを検証し、また、合併で変わったこと・これからの町づくりの課題を整理し、永続的に未来に向かって活力あるまちづくりをすすめるため調査する。

■合併で変わったこと 【合併効果】

1、自治体規模の拡大、財政規模が大きくなり人口も増え人材も広がり、スケールメリットをもって将来を見据えた大規模プロジェクトを立ち上げる可能性が広がった。

2、産業面において、農業・水産・工業、第一・二次産業が集積された。

3、観光資源（愛ランドユール、チューリップ公園、五鹿山公園、キャンプ場、イベント）が増えたこと、地域イベント

の魅力を図ることによって観光客の入込が見込まれ、更に湖沼・海・山の地域資源を観光施設に活用することが期待できる。

4、町役場としての総合力が向上し、財政基盤の強化や行政運営の効率化が期待できる。

5、地域でできることは地域で行う住民の自治意識が高まり、住民主体の地域づくりが推進されている。

6、事務事業の見直し、公共施設の統廃合、民間への委託事務・事業が進められる等行政運営の効率化が進められつつある。

7、地方交付税の特別措置等により、基金積立金の増加、適正な地方債残高が維持されているなど財政基盤が強化された。

8、356件の権限移譲により、地方分権が推進され、また、人事交流等により行政体制の整備が図られた。

9、旧町間を超えた公共施設の活用ができるようになり、住民サービスが拡大し利便性が向上した。

■これからの町づくりの課題

新町はオホーツクエリアにあって、農・水・林業の基盤

が整っており、存在感のあるまちとして認知されており、町民は自信をもってまちづくりに気概をもって「人口減少・まち創生」に正面から取り組む姿勢を打ち出すことが重要である。

1、**中心市街地の活性化に官民一体となって取り組む必要がある。**

住居・商業・医療・金融機関・交通等の拠点である中湧別市街地を中心市街地とし、便利で安心して生活する機能を高めることと、経済活動の向上のため、重点投資を官民一体となって取り組むことが必要。

2、高齢者福祉サービスに対する公的団体の統合の検討並びに多様で効果的な事業展開を推進する必要がある。

社会福祉法人等公共的団体の統廃合について、行政主導で検討し、多様で効果的な事業展開の推進が必要。

3、**地域組織の再編に取り組む必要がある。**
人口減少、高齢化により、安心した暮らしを支える地域組織の再編を進めることが必要。

4、**行政が積極的な活性化策に取り組む必要がある。**
行政が積極的な大規模プロジェクトを立ち上げるなど、活性化策を示すことが必要。

5、**更なる行財政改革を進め健全な行財政運営を行う必要がある。**
人口減少や高齢化が進展する中、簡素で効率的な行政体制の整備と安定的な財源の確保が必要。



総務厚生常任委員会の様子
(令和2年8月7日)

- 6、施設の統廃合など、早急な公共施設の運営手法の検討が必要である。
- 合併後、公共施設の多くが維持されており、施設の統廃合を含め、運営の検討が必要。
- 7、コンパクトな町づくりの推進が必要である。
- 僻地住民を中心市街地の空き家対策を含めた移住を進める町づくりの推進が必要。
- 8、市町村間の広域行政を推進し、財政基盤の強化を図る必要がある。
- 教育行政・上下水道事業・介護保険事業等について広域化を検討し、財政基盤の強化を図ることが必要。

審議結果一覧

Result Of Deliberations

令和2年 第4回定例会 審議された議案等

(1万円未満切捨て)

認定	令和元年度湧別町各会計歳入歳出決算認定について 地方自治法に基づき議会の認定に付すもの。 【審査を決算審査特別委員会に付託し、認定すべきとの報告】	認定
	令和元年度湧別町水道事業会計決算認定について 地方自治法に基づき議会の認定に付すもの。 【審査を決算審査特別委員会に付託し、認定すべきとの報告】	認定
補正予算	令和2年度湧別町一般会計補正予算 8回目の補正で、259万円を減額して歳入歳出予算の総額を107億5,609万円とするもの。	原案可決
	令和2年度湧別町国民健康保険特別会計補正予算 4回目の補正で、25万円を追加して歳入歳出予算の総額を15億1,708万円とするもの。	原案可決
	令和2年度湧別町介護保険特別会計補正予算 2回目の補正で、149万円を追加して歳入歳出予算の総額を10億4,231万円とするもの。	原案可決
	令和2年度湧別町水道事業会計補正予算 2回目の補正で、収益的収入に5万円を追加して予定額を1億9,814万円とし、収益的支出に3万円を追加して予定額を2億4,179万円とするもの。	原案可決
	令和2年度湧別町簡易水道事業特別会計補正予算 2回目の補正で、147万円を追加して歳入歳出予算の総額を2億63万円とするもの。	原案可決
	令和2年度湧別町下水道事業特別会計補正予算 3回目の補正で、143万円を追加して歳入歳出予算の総額を4億4,976万円とするもの。	原案可決
条例	湧別町体育施設条例の一部を改正する条例の制定について 中湧別総合体育館大規模改修工事に伴い、室名の名称変更と使用料を定めるため改正するもの。	原案可決
	湧別町寿の家及び福祉の家条例の一部を改正する条例の制定について 上芭露寿の家を廃止するため改正するもの。	原案可決
その他	湧別町公の施設に係る指定管理者の指定について【16件】 町営バス・スクールバスを湧別小型・湧別ハイヤー・中湧別ハイヤー共同企業体に、社会福祉会館を湧別町社会福祉協議会に、各地域の地区会館等や寿の家を各自治会に、それぞれ指定管理者の指定を行った。	16件ともに 原案可決
	財産の処分について【2件】 森林経営計画に基づく町有林の立木処分するもの。	2件ともに 原案可決
議会提出	湧別町議会の議員定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について 湧別町議会の議員定数を次回選挙より13名から11名に改正するもの。(2名減)	原案可決
	湧別町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について 湧別町議会議員定数の減により、総務厚生、産業文教の各常任委員会の委員定数を1名ずつ減と改正するもの。	原案可決
	閉会中の所管事務調査等の申し出 総務厚生常任委員会 ふるさと納税について 地域おこし協力隊について 産業文教常任委員会 義務教育学校について 議会運営委員会 次期議会の会期日程等議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項	承認

令和2年12月開会の第4回定例会において、3人の議員から質問があり、理事者の答弁は、次のとおり。(質問と答弁は要約)

- 1 **山本栄子 議員**
①旧スーパーおくやまの解体について
- 2 **村田一志 議員**
①スマート農業の推進について
- 3 **村川勝彦 議員**
①地域医療の重要性について

9月議会の一般会計補正予算により、旧山本呉服店と旧スーパーおくやまの屋上看板が特定空家の判断のもと、解体された。
その以前に旧理容院と旧薬

山本議員



旧スーパーおくやまの解体について



危険状態を解消しており、経過を観察する。



山本議員

石田町長

特定空家2か所の建物解体は11月30日に工事が完了し、危険状態を解消している。

2件の間にあった旧理容院と旧薬局については、本年度創設した湧別町空家除却推進事業の活用による解体を所有者に要請し、実施いただいた。旧スーパーおくやまの建物については、現地調査を行った結果、特定空家への認定は

局も建物が解体されており、広い空き地となっている。
旧スーパーおくやまの建物は特定空家に該当されないと説明されているが、周りが解体され、残された建物は風当たりも強くなり、危険物になる可能性が大きくなる。
湧別地区のメインの間でもありますが、あつという間に草が伸び、景観が損なわれている。今後この空き地の活用を考えていくうえでも、建物をできるだけ早いうちに解体することを望むが、今後の見解を伺いたい。

石田町長

例えば舗道に面した部分などで、町民の通行に部分的にでも危険があれば、対応していく。

空き地の管理について、民地は所有者に適正な管理を要請し、町有地については町が適正に管理を行う。

山本議員

旧スーパーおくやま前は子供の通学路にもなっており、以前天井がはがれかけ、直してもらった経緯もある。今後危険な場所が増えてくるのではないか。
民有地もあるが、いつまでも空き地にしておくと景観上も良くない。

【再質問】

成されなかったが、老朽化等状況の経過観察を継続する。
空き地については民有地を含んでおり、現在利活用は考えていない。



村田議員

近年、農業分野においてロボット技術やICT活用による省力化などスマート農業の推進が言われている。

村田議員

Q スマート農業の推進について

A スマート農業の推進は必要。推進方針の策定を検討する。

農業の現場では省力化・人手の確保・負担低減が重要な課題となっており、ロボットなど先端技術を活用したスマート農業による取り組みが国内全体で広がっている。

石田町長

湧別町内においても搾乳ロボットやトラクターの自動運転など少しずつ先進技術の導入が進んでいるが、農家戸数は減少し、担い手も不足しており、今後の農業生産の維持や基幹産業の更なる発展が心配される。
これからの農業は、担い手問題や生産の省力化のためにもスマート農業を取り入れることがますます必要となる。
先端技術を用いたスマート農業を湧別町全体で推進するため、関係機関、農業者等による組織の立ち上げ、情報・技術の共有化を図るべきではないか。
また、スマート農業の推進方針を町として策定する考えは。

農業振興計画の中でもスマート農業という言葉は使われていないが、その内容は十分に記載されている。
関係機関と協議しながら、この事業を強力に推進していただきたい。

村田議員

【再質問】

本町においても湧別町農業振興計画等において掲げており、農業生産の効率化を図るためスマート農業の推進は必要と感じている。
酪農分野では搾乳ロボットなど、国の補助制度である畜産クラスター事業を活用しながら普及を図っているが、畑作分野においては国の制度が限られているため、十分に普及されていない。
今後の推進について湧別町農業振興協議会にて調査研究を行い、関係機関と協議を進める。
また、その調査研究結果をもとに、町として推進方針を策定するかを検討していく。



搾乳作業



搾乳ロボット

スマート農業を進めるにあたり、通信網などいろいろな分野の整備が必要となる。全ての整備を一度には難しいが、それらを含めて目標を置きながら、できるところから取り組みたい。

石田町長

町の合併前から病床を持つ病院が無くなるのではないかと不安を持つ住民の意見を多数いただいた。
遠軽町にはセンター病院があるが、医師、看護師不足、運営に近隣町が支援している状況にある。
手術は大きな病院で受けながら、その後短期間で退院となり、地元の病院に入院となるのが現状である。
高齢化が進み、老人福祉施設が満床となる中、退院後、施設にも入所できず、入所で

村川議員

Q 地域医療の重要性について

A 地域医療の確保のための施策を検討する。



村川議員

きても施設では治療もできないことから、地元病院に頼らざるを得ない。

現在、湧別町では民間病院に対して、医療補助制度で建物修繕、医療機器の導入に対し助成しているが、道内、管内では病院運営状況が悪化し、管内病院においては町が一億4千万円から2億円の赤字を負担し運営している。

どこの町も町内の民間病院に対して、住民の生命を守る病院と位置づけ、大きな負担をしている。

町内にある民間病院は湧別と紋別で運営しており、昨年の収支では大きな赤字となり、紋別病院との分離も余儀なく

されていると聞いている。しかし、この町から病院を無くしたくないと長期継続でき、後継者が戻れるよう真剣に考えておられる。特に新型コロナウイルス感染症など医療の重要性が増す中で、近隣町のように住民が安心して暮らせる町づくりのため、思い切った政策が重要と考えるが。

石田町長

本町の地域医療は、自治体立の診療所との位置づけにより、町が全面的に支援を行っている「ゆうゆう厚生クリニック」と、町内唯一の民間病院である「曾我病院」の2つの医療機関により担われている。

曾我病院の経営状況については院長と何度もお話をさせていただき理解しているつもりだが、民間病院への赤字補填としての支援は難しいこともお伝えしている。

私は、民間病院であっても、将来に向けた健全な病院経営

により継承していける基盤を整えていただくことが、地域医療の確保につながると考えており、何かしらの支援は必要と考えている。町内における入院病床の維持・確保のための支援は、来年度（令和3年度）に向けて内部調整中であり、今後議会とも慎重に協議させていた

【再質問】

村川議員

民間病院への赤字補填は行わないとのことであるが、病院は一般企業とは異なり、町民の命を左右する仕事である。近隣町では大きな支援をするなか、安全で安心して暮らせる町づくりの基本として、病院が弱体してからは遅いので、新年度に向け大きな支援をするべきではないか。

石田町長

近年様々な事情から病院の運営が厳しいことは承知して

いる。しかし、公的医療機関として位置づけているゆうゆう厚生クリニックと同じように、民間病院に対し直接的な赤字支援を行うことは、町民に理解が得られないと考えている。

そのなかで、曾我病院が有床病院であり、入院ベッドがあるということは、町民の大きなメリットであり、これを守るため、ベッドを維持していただくための方策を3月議会に向け、考えていきたい。

【再々質問】

村川議員

町民から曾我病院の運営状況を聞かれることも多く、また、固定資産税の収入や、働く場所の確保などから、町の貴重な財産を活用することに、町民の理解を得られるのではないかと、また、理解を求めるのは我々の役割でもある。

今後の対策の検討を期待する。

石田町長

湧別町にとって民間病院である曾我病院の立ち位置は、非常に重要なものと認識している。

今の段階では、町が経営の赤字に対して直接的に補填を行うという考えは持っていないが、別の方法で支援策を考えていきたい。



曾我病院

議会・委員会等議員出席状況

令和2年1月～12月

○…出席 ×…欠席 (病)…病欠 ()は欠席の理由 -…出席対象外

区分	議員氏名		議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	副議長	議長	
			鈴木敬次	脇坂敏夫	檜山洋一	山本栄子	村田一志	下田英人	小形秀和	高田映二	佐野宣雄	酒井純一	上松和博	村川勝彦	吉田耕造
定例会	第1回	3月4日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		3月5日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		3月10日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		3月11日	× (病)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第2回	6月17日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		9月16日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		9月17日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第4回	12月17日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
臨時会	第1回	4月3日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第2回	5月14日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	× (検査入院)	
	第3回	8月12日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第4回	11月4日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第5回	11月25日	× (検査入院)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務厚生常任委員会	第1回	2月7日	○	○	○	-	-	-	○	-	○	-	○	-	
	第2回	3月19日	○	○	○	-	-	-	○	-	○	-	○	-	
	第3回	4月24日	○	○	○	-	-	-	○	-	○	-	○	-	
	第4回	5月29日	× (病)	○	○	-	-	-	○	-	○	-	○	-	
	第5回	7月7日	× (病)	○	○	-	-	-	○	-	○	-	○	-	
	第6回	8月7日	○	○	○	-	-	-	○	-	○	-	○	-	
	第7回	10月22日	○	○	○	-	-	-	○	-	○	-	○	-	
	第8回	11月16日	× (病)	○	○	-	-	-	○	-	○	-	○	-	
産業文教常任委員会	第1回	2月14日	-	-	-	○	○	○	-	○	-	○	-	○	
	第2回	5月8日	-	-	-	○	○	○	-	○	-	○	-	○	
	第3回	9月4日	-	-	-	○	○	○	-	○	-	○	-	○	
	第4回	10月9日	-	-	-	○	○	○	-	○	-	○	-	○	
議会運営委員会	第1回	2月28日	-	-	-	○	○	○	-	○	-	○	-	○	
	第2回	4月3日	-	-	-	○	○	○	-	○	-	○	-	○	
	第3回	4月16日	-	-	-	○	○	○	-	○	-	○	-	○	
	第4回	5月14日	-	-	-	○	○	○	-	○	-	○	-	○	
	第5回	6月11日	-	-	-	○	○	○	-	○	-	○	-	○	
	第6回	8月12日	-	-	-	○	○	○	-	○	-	○	-	○	
	第7回	9月10日	-	-	-	○	○	○	-	○	-	○	-	○	
	第8回	11月4日	-	-	-	○	○	○	-	○	-	○	-	○	
	第9回	11月25日	-	-	-	○	○	○	-	○	-	○	-	○	
	第10回	12月11日	-	-	-	○	○	○	-	○	-	○	-	○	
議会広報編集特別委員会	第1回	1月29日	-	○	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	
	第2回	4月22日	-	○	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	
	第3回	7月16日	-	○	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	
	第4回	10月27日	-	○	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	
決算審査特別委員会	第1回	9月16日	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	第2回	11月9日	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
全員協議会	第1回	2月6日	× (検査入院)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第2回	3月11日	× (病)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第3回	5月14日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	× (検査入院)	
	第4回	6月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第5回	8月12日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第6回	9月17日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第7回	11月25日	× (検査入院)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第8回	12月17日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			23	33	36	38	28	32	32	38	40	32	42	38	36

※吉田議長は、総務厚生常任委員会、産業文教常任委員会および議会運営委員会へは、オブザーバーとして出席。

令和2年 第4回臨時会

令和2年11月4日開会
～財産の取得を可決～

第4回臨時会が11月4日に開会し、町長から議案3件が提出され、審議した。

財産の取得

予定価格700万円以上の財産の取得が提案され、審議・採決の結果、全会一致で原案可決した。

(金額は1万円未満切捨て)

◇保育所送迎バス運行用

マイクローバース1台

・取得金額 665万円

・契約の相手

三菱ふそうトラック・バス

(株)北海道ふそう北見支店

◇GIGAスクール構想

児童生徒用タブレット端末

タブレットパソコン

・取得金額 570台ほか
555万円

・契約の相手 株式会社カリヤ(緑町)

◇学校用コンピュータ機器

ノート型パソコン

・取得金額 2046万円

・契約の相手 49台ほか

北海道市町村備荒資金組合

町長の 行政報告

—要約掲載—

寄附の採納

去る10月12日に、創立70年

を記念し、小中学校の図書購

入費用として、遠軽町の遠軽

信用金庫理事長島田光隆様か

ら町に200万円、また、湧

別福祉会、上湧別福祉会の高

齢者福祉施設用として車いす

10台の寄贈があった。

お寄せいただいた貴重な浄

財は、ご意向に沿って有効に

活用したい。

道関係工事の発注状況

(1万円未満切捨て)

工事名	工事場所(対象区域)	工期	請負金額	請負業者
上社名淵上湧別線道単舗装工事(構造改良)	南兵村三区	R2.12.21	1,017万円	(株)藤共工業(興部町)
中土場川災害復旧工事(単独)外	北兵村一区・上湧別 屯田市街地・南兵村 二区・富美・開盛	R3.3.22	2,420万円	日新工業(株)(遠軽町)
佐呂間別川広域河川改修工事(芭露川工区)3工区	芭露	R3.3.22	3,498万円	佐呂間開発工業(株)(佐呂間町)
芭露川外道単改修工事(冬)	芭露・上芭露・西芭露	R3.3.22	1,464万円	(株)東伸(北見市)
計呂地若佐線(補567)局改修工事(円山橋補修)外	計呂地・芭露	R3.3.22	6,369万円	鈴木工業(株)(網走市)
水利施設等保全高度化事業 畑地帯(営農用水)旭富美2期地区1工区工事	富美(町道熊の沢道路)	R2.11.20	1,028万円	アース工業(株)(北見市)

町関係工事の発注状況

(1万円未満切捨て)

工事名	工事場所(対象区域)	工期	請負金額	請負業者
終末処理場ディッチ設備コントロールセンタ更新工事	曙町	R3.3.10	1,606万円	(株)カリヤ
手洗い場自動水栓化工事その2	町内	R2.12.15	1,716万円	(有)吉田設備工業
河川補修工事(計呂地川浚渫)	計呂地	R3.2.26	1,754万円	湧別小型運送(株)
学校情報通信ネットワーク環境整備工事	町内	R3.2.26	1,005万円	(有)プラザ為廣

※いずれも入札日順

令和2年 第5回臨時会

令和2年11月25日開会
～補正予算を可決～

第5回臨時会が11月25日に開会し、町長から議案8件が提出され、審議した。

審議・採決の結果、全会一致で原案可決した。

(金額は1万円未満切捨て)

◇一般会計

・5761万円を追加し、総額107億5868万円とした。

主な内容は次のとおり

①歳末福祉商品券給付事業

1379万円

②緊急景気対策事業

(きずな5冬・商品券)

4337万円

※③は、新型コロナウイルス感染症対策事業

令和2年度一般会計 補正予算を可決

国家公務員の給与改正に準じて、特別職、議会議員、職員の前末手当の支給率を0.05か月分引き下げる条例改正が提案され、審議・採決の結果、全会一致で原案可決した。

特別職・議会議員・ 職員の期末手当引き 下げ条例案を可決

一般会計ほか特別会計の補正予算がそれぞれ提案され、



▶新型コロナウイルス感染症への経済対策として2回目の配布となった商品券

町長の行政報告 — 要約掲載 —

町関係工事の発注状況

(1万円未満切捨て)

工事名	工事場所(対象区域)	工期	請負金額	請負業者
上湧別コミュニティセンター改修工事	上湧別屯田市街地	R3.3.20	1,782万円	(株)長谷川建設

お悔やみ申し上げます。

町政、まちづくりにご尽力された元議員が、令和2年1月から12月までの間に逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

□佐々木 克郎氏(享年91歳) 旧上湧別町で2期8年

令和2年3月1日にご逝去

□清水 隆二氏(享年83歳) 旧湧別町で3期12年

令和2年4月14日にご逝去

□原田 繁雄氏(享年90歳) 旧湧別町で5期20年

令和2年10月9日にご逝去

□市川 太平氏(享年93歳) 旧湧別町で9期36年

令和2年10月19日にご逝去

□押野 健一氏(享年88歳) 旧湧別町で6期24年

令和2年12月7日にご逝去

会 議 の 状 況

令和2年第3回定例会（9月開会）のあとから第4回定例会（12月開会）までの間に行った各種会議の概要（臨時会・決算認定特別委員会を除く）は、次のとおり。

議会全員協議会

【第7回 11月25日】

●湧別町バイオマス産業都市構想等について

町内産業団体等により検討されている湧別町バイオマス産業都市構想について説明を受けた。

【第8回 12月17日】

●湧別町公立保育所の統合民営化について

町内保育所の統合民営化のスケジュール等について説明を受けた。

●議会改革について

議会情報のホームページでの公開について協議を行った。

総務厚生常任委員会

【第7回 10月22日】

●所管事務調査

【社会福祉施設の運営について】

町内の高齢者施設およびサービスの状況について事務調

査を行った。
【空き家対策について】

空き家対策として認定空家や行政代執行などについて事務調査を行った。

●事業説明

【町内保育所の再編計画について】

町内保育所の統合、公私連携認定こども園について健康こども課より説明を受けた。

【第8回 11月16日】

●所管事務調査

【合併10年における検証・総括について】

合併効果があった事項の洗い出しによるまちづくりの課題について、継続して協議を行った。

●事業説明

【自治会設置条例の見直しについて】

自治会設置条例の見直しについて総務課より説明を受けた。

●次回の所管事務調査項目

・ふるさと納税について
・地域おこし協力隊についてと決定。

産業文教常任委員会

【第4回 10月9日】

●所管事務調査

【観光施設の維持管理について】

観光施設の維持管理についてファミリー愛ランドユ一、宿泊施設しらかばの現地調査、事務調査を実施。

●次回の所管事務調査項目

・義務教育学校についてと決定。

議会運営委員会

【第8回 11月4日】

●第4回臨時会の運営

議会運営を協議

【第9回 11月25日】

●第5回臨時会の運営

議会運営を協議

【第10回 12月11日】

●第4回定例会の運営

議会運営を協議
議会改革について協議



▶ファミリー愛ランドユ一の現地調査
(産業文教常任委員会)



▶議会運営委員会の様子
(令和2年12月11日)

議会広報編集特別委員会

【第4回 10月27日】

議会だより第43号の内容

議会だより第43号の内容について協議



遠軽地区広域組合議会 結果

副議長、常任委員会委員長2人が広域組合議員として出席し、議案を審議した。

【令和2年第3回議会（臨時会）10月13日開会】

●専決処分

◇北海道市町村職員退職手当組合理約、北海道町村議会議

員公務災害補償等組合理約、北海道市町村総合事務組合理約について、構成団体の脱退による規約の変更の承認を求められた。（承認）

●令和2年度遠軽地区広域組合一般会計補正予算（第2号）

◇一般会計予算を1191万円減額し、19億4955万円とする補正予算が提案された。（原案可決）

【令和2年第4回議会（定例会）12月4日開会】

●遠軽地区広域組合一般会計継続費

◇一般会計予算の継続費（ごみ焼却施設解体事業）に係る継続年度の終了について継続費清算報告書が提出され、認定を求められた。（認定）

●専決処分

◇遠軽地区広域組合職員給与条例の一部改正について、人事院勧告に基づく国家公務員

の給与に準じ、職員の手当等を見直したため、専決処分の承認を求められた。（承認）

●遠軽地区広域組合行政手続条例の制定

◇行政手続法の規定により、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図るため、条例制定が提案された。（原案可決）

●遠軽地区広域組合火災予防条例の一部改正

◇対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の規定に関する基準を定める省令の一部改正により、火災予防上必要な措置として所要の規定を整備するため、条例制定が提案された。（原案可決）

●遠軽地区広域組合職員給与条例の一部改正

◇職員の病気休暇制度の見直しに伴い、一般職の職員の給与の減額に関する規定を整備するため、条例制定が提案された。（原案可決）

●令和2年度遠軽地区広域組合一般会計補正予算（第3号）

◇一般会計予算を319万円減額し、19億4635万円とする補正予算が提案された。（原案可決）

●令和元年度遠軽地区広域組合一般会計歳入歳出決算認定

◇歳入総額21億3475万円、歳出総額20億7411万円の一一般会計歳入歳出決算が提出され、認定を求められた。 ※1万円未満切捨て（認定）



湧別町議会会議録の閲覧ができます

町議会の会議録を閲覧することができます。ご希望の際は職員にお申し出ください。

【閲覧場所】

議会事務局（役場上湧別庁舎3階）、湧別図書館、中湧別図書館

【会議録】

平成21年第1回臨時会から令和2年第5回臨時会（令和2年11月25日開催）まで





議会の活動

令和2年11月～令和3年1月

- 11月2日(月) オホーツク圏活性化期成会石北線部会(北見市)
- 3日(火) 湧別町功労者表彰式典
- 4日(水) 第8回議会運営委員会、第4回議会臨時会
- 9日(月) 決算審査特別委員会(～13日)
- 16日(月) 第8回総務厚生常任委員会
- 25日(水) 第9回議会運営委員会、第5回議会臨時会、第7回議会全員協議会
- 12月4日(金) 第4回遠軽地区広域組合議会定例会(遠軽町)
- 11日(金) 第10回議会運営委員会
- 17日(木) 第4回議会定例会、第8回議会全員協議会
- 23日(水) 湧別町バイオガス事業推進連携協定締結式
- 1月21日(木) 第1回議会広報編集特別委員会
- 26日(火) 第1回産業文教常任委員会
- 29日(金) 第1回総務厚生常任委員会

※本年度の会議や要望活動の多くが、新型コロナウイルスの影響により書面による対応となっております。

次の議会定例会は、3月10日(水)を予定!

主な内容は、議案審議と一般質問です。
議場での傍聴が可能です。

また、上湧別コミュニティセンター、湧別庁舎、文化センターTOMにて、議会の様子を生中継しています。ぜひご視聴ください。

詳しくは、かわらばん、町ホームページでお知らせします。



ゆうべつ町議会だより第44号

2021(令和3)年2月25日発行

発行/北海道湧別町議会

編集/議会広報編集特別委員会

委員長 酒井 純一

副委員長 檜山 洋一

委員 脇坂 敏夫

委員 下田 英人

〒099-6592

北海道紋別郡湧別町

上湧別屯田市街地318番地

TEL01586-2-2130/FAX01586-2-2511



第44号の表紙

1月14日の中湧別保育所の給食の様子です。年長さんは進んで給食の準備をすませ、みんなですたきます!

給食の前にはお昼寝のベッドを自分たちで用意をしていました。

コロナ禍ではありますが、検温や消毒などの徹底により、保育所の中は以前と変わらず、ブロックや絵本などで仲良く遊ぶ子供たちの笑顔でいっぱいでした。